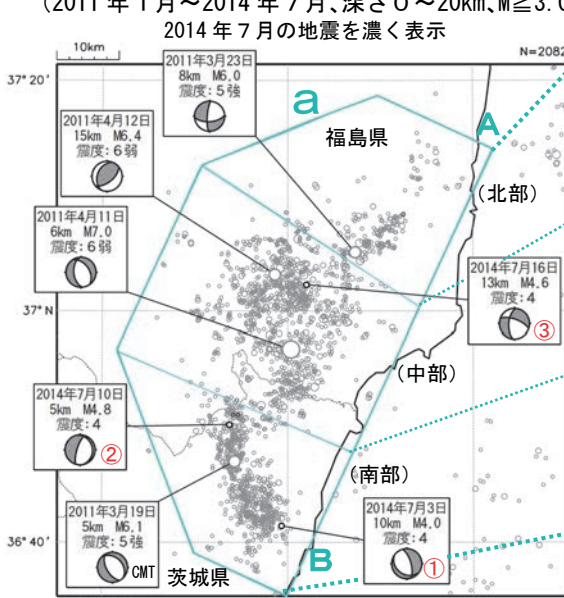


福島県浜通りから茨城県北部の地震活動

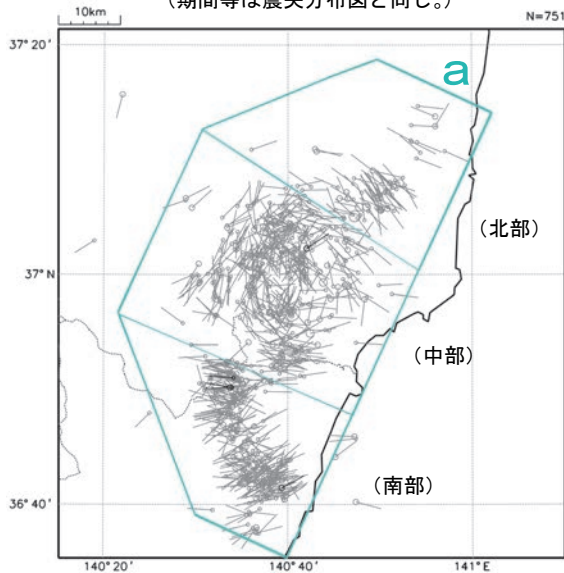
福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内（領域 a）で「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の発生直後から始まった地震活動は、消長を繰り返し徐々に低下しているものの、2014 年 7 月末現在も 2011 年以前に比べ活発な状況が継続している。2014 年 7 月は、3 日 07 時 58 分に茨城県北部の深さ 10km で M4.0 の地震（最大震度 4、東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型、図中①）、10 日 17 時 58 分に茨城県北部の深さ 5km で M4.8 の地震（最大震度 4、東西方向に張力軸を持つ正断層型、図中②）、16 日 17 時 24 分に福島県浜通りの深さ 13km で M4.6 の地震（最大震度 4、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型、図中③）が発生するなど、領域 a 内では M3.0 以上の地震が 7 回、震度 1 以上を観測する地震が 8 回発生した。

震央分布図
(2011 年 1 月～2014 年 7 月、深さ 0～20km、M \geq 3.0)
2014 年 7 月の地震を濃く表示

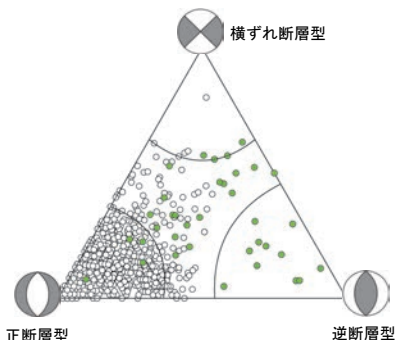


M6.0 以上の地震と 2014 年 7 月に震度 3 以上を観測した地震に吹き出しをつけた。発震機構は特に記載のないものは初動解。

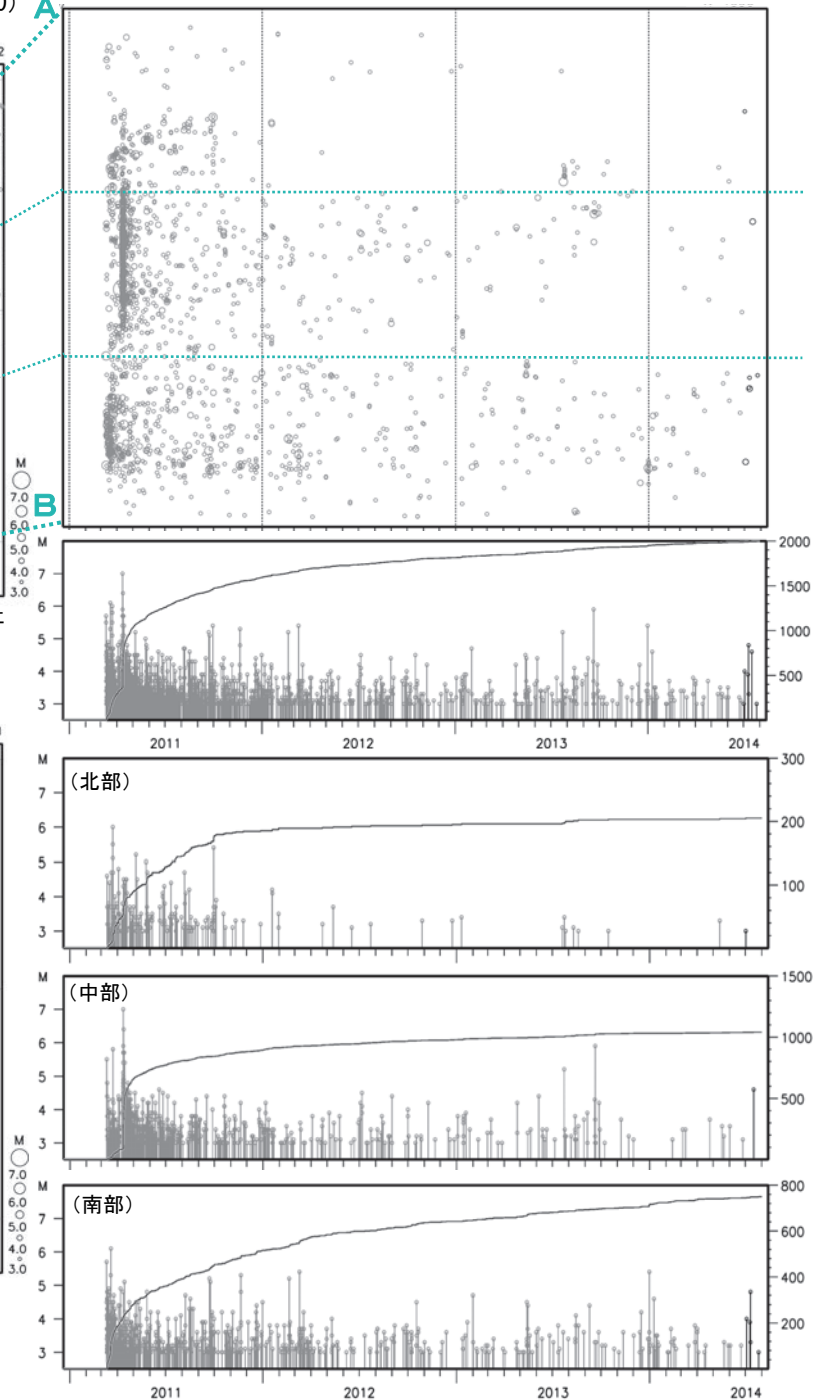
張力軸の方位
(期間等は震央分布図と同じ。)



領域 a 内の地震の発震機構の型
(深さ 13km 以深の地震を塗りつぶして表示)



領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)、M-T 図及び回数積算図



領域 a 内の M3.0 以上の地震活動を北部、中部、南部に分けて見ると、北部では 2011 年 10 月以降、地震活動が低調である。中部、南部では、2014 年現在も M4.0 を超える規模の地震が発生している。

この地震活動で発生している地震の発震機構は、正断層型が多い。張力軸の方向は場所によって異なるが、北部では概ね北西-南東方向、南部では概ね東北東-西南西方向を向いている。また、中部では深さ 13km から 20km 程度の比較的深い所を中心に逆断層型や横ずれ断層型の発震機構を持つ地震も見られる。